

## コミュニティ・ニュース

発行所 藤枝  
中学校区  
学校運営協  
議会 事務局

## 旧市街地活性化に向けて

12月24日(日)、生涯学習センターを会場に、静岡大学地域創造教育センター主催による地域資源マップを作成するワークショップが開催されました。当日は、静岡大学本多名誉教授による旧東海道や藤枝宿の歴史を紐解く講演会も実施され、参加した方々が地域資源作りに取り組みました。



## 出身小学校での挨拶運動



藤枝小学校

毎年恒例の中・小学生による小学校でのあいさつ活動が、1月15日(月)～19日(金)までの一週間実施されました。これは藤枝中学校の生活専門委員が基本的に出身小学校に登校して小学生(児童会の児童など)と共に正門(校門)や児童昇降口であいさつ活動を行うというものです。

## 文学の街・藤枝

加藤まさきを、藤枝静男、小川国夫などを生み出した私たちの街、藤枝。サッカーの盛んな街として知られていますが、著名な文学者を何人も輩出している街としては、あまり知られていないのではないのでしょうか。かつて日知館という藩校があったという事情もあるのでしょうが、この地域の長い歴史が育んだ文学の歴史の一つなの

## コラム

かもしれない。生前の小川国夫は、白のスニーカーを履いて蓮華寺池公園を散歩したり、地元の喫茶店に立ち寄り、相撲やファンであった阪神タイガースの話をしていたそうです。彼の作品には、こうした地元での生活場面が数多く登場します。藤枝という私たちの街の風土がこうした方々を育んだのでしょうか。



藤枝中央小学校

あいさつ活動を行う中学生は、寒風の中、朝自転車で小学校へ登校し、小学生に負けないさわやかなあいさつを心掛けていました。



稲葉小学校

中学生のリーダー性の向上と小学生のあいさつ活動の活性化を目的としたこのような取り組みが、コミュニティ・スクールとしての一体感の醸成につながるのではないのでしょうか。『自然と笑顔になる』という参加した中学生の言葉が印象的でした。

## 稲葉の安全を守る会

1月18日(木)、稲葉小学校を会場に『稲葉の安全を守る会』が開催されました。これは、稲葉地区の子どもたちの安全を守るために様々な立場の人々が知恵を出し合い協力しながら、諸問題を実際に解決して

いこうとするための集まりです。会の話し合いでは、『道路の白線が薄くなってきた』『信号機の設置が望ましい』『バス停の基礎の石が登校の妨げとなっている場所がある』などの様々な情報交換と、その解決に向けた具体的な取り組みについて話し合われました。尚、以下は参加された方々です。自治会長・民生児童委員会会長・稲葉交流センター長・地域安全推進委員・青少年補導地区長・交通安全協会分会長・中山駐在所職員・社会福祉協議会地域福祉係・いな子守り隊の皆様・交通指導員・PTA会長・PTA副会長・PTA生活指導部・稲葉小職員



## 大谷グロブ届く

1月19日(金)、藤枝中学校の3校の小学校に大谷翔平選手から送られたグロブが届きました。それぞれの小学校で工夫を凝らした児童への紹介がなされました。



藤枝小学校